

羽村リトルシニアに無償で貸している土地を返還させ、他のスポーツ団体にも平等に貸し出し出来るよう市有地の利用方法を再検討せよ

羽村第三中学校と隣接している市有地(裏面地図参照)は現在「羽村リトルシニア」の専用グラウンドになっています。市と羽村リトルシニアは貸借契約書を1年毎に更新し続けています。その契約書によりリトルシニアは市の土地を無償で独占的に利用することが出来るのです。契約書の根拠は、「羽村市公有財産管理規則」「財産の交換、譲与、無償貸付等関する条例」によるもので、「特に必要があると認めるとき」と「市長が特に必要と認める時」となっています。市長が認める時の前提は、「公用、公共用に供するために使用する」ことが当然ですが、リトルシニアは公用、公共用とは全く異なる団体です。社会教育団体にも登録されていません。このように羽村リトルシニアを特別扱いは野球を愛する少年たちを大切にすることにはならないと思います。

その一方で地域の少年野球チームやサッカーチームまた、町内会育成部が行っているキックボール、ソフトボールのチームは練習場所の確保に大変苦労しています。ある地域のキック、ソフトのチームは、毎週練習をしたいけれど9月、10月は月2回各2時間しか場所が取れなかったそうです。しかも、ある小学校の校庭では一度に3つの団体がいっしょに練習をすることもあります。一つのチームの外野がエラーをすると他のチームが一度練習を止めなければなりません。

さらに、ゲートボールの場所がないという地域もあります。

市は一部の団体が利益を受けるといふ契約は直ちにやめ、全市民が利用できるように市有地の利用方法を見直すべきでしょう。

以下は12月定例議会での市川えい子議員に対する市長の答弁です

- 市川 羽村リトルシニア野球協会にはいつから貸しているのか？
市長 昭和58年3月31日に当時の町が購入し、羽村リトルシニア野球協会に貸し出ししている。
市川 無償貸与している土地の面積は？
市長 7714.32平方メートル
(市内の小学校で一番狭い校庭は富士見小の5555平方メートル)
市川 在籍している子どもの人数を自治体別に。
市長 総勢107名。羽村市39名。青梅市18名。福生市10名。あきる野市10名。瑞穂町8名。武蔵村山市14名。その他の市町が8名。

- 市川 リトルシニアの予算書、決算書、規約、役員名簿の提出は毎年されているか？
市長 野球協会と取り交わしている土地使用貸借契約書では、これらの書類の提出について規定はしていない。このためこれまで提出を受けていない。
市川 市有地をリトルシニアと同じ条件で貸与している土地は他にあるか？
市長 現在20箇所あり、貸出先は町内会、羽村市商工会、私立保育園、警視庁等である。
市川 羽村リトルシニアとの土地使用貸借契約書の(契約解除)第12条1項に従い、土地の返還を求め改めて他のスポーツ団体も利用出来るようにするなど土地の利用方法について検討すべきである。
市長 返還を求める考えはない。
市川 羽村リトルシニアへ無償貸与している土地に隣接する土地を市は購入した。この土地をリトルシニアに無償使用させるのではという声がある。市の考えは。
市長 地元の町内会や老人会から一時的に使用させて欲しいとの要望があるので様々な観点から検討していく。
市川 リトルシニアへの無償貸与はこの団体が特別に利益を得るもので、公平平等と全市民を対象とすることを旨とする地方自治体のあり方と反する。市長の考えは。
市長 羽村リトルシニアは、硬式野球の競技を通じて体力の向上とスポーツ精神を養うとともに、団体活動を通じて社会性を青少年に身につけさせることを目的に活動している。また、リトルシニアの活動が青少年の健全育成に寄与しており市として団体の育成に努める必要がある。数多くの関東大会や全国大会に出場し平成17年に念願の全国優勝を果たすなど羽村のイメージアップにつながっている。さらに、将来の羽村を背負っていく青少年が「夢」を実現できるよう支援する必要がある。

他のスポーツ団体に犠牲を押しつけながらの青少年健全育成はあり得ないし、「夢の」実現は市内すべての子どもたちへ平等に保障すべきです

市長の答弁にある「体力の向上とスポーツ精神」「社会性を身につける」「健全育成」などはリトルシニアに限らず全ての市内のスポーツ団体に言えることです。

リトルシニアに使わせるなどといったものではありません。グラウンドが使用されていない時もあります。空いている時に使用したいという団体があるならば市として貸し出すことは当然です。

平成20年4月
羽村市土地開発公社が公共
用地として購入

昭和58年5月
羽村町(当時)が購入し、羽
村リトルシニア野球協会に
貸し出した土地
7714.32m²



都営瑞穂アパート

羽村第三中学校

